

2 火災編

平成25年（2013年）の火災概況

火災件数及び種別 <前年と比べ11件増加>

件数

平成25年の火災件数は95件で、前年と比べ11件（13%）増加した。

種別

火災種別ごとに見ると、「建物火災」が69件で全体の約73%を占め、前年と比べ1件の増となった。

「車両火災」は13件で前年と比べ5件の増、「その他の火災」は13件で前年と比べ5件の増となり、「林野火災」の発生はなかった。

損害額 <市民1人当たりの損害額は871円>

火災による損害額は前年と比べ2億1,048万9千円増加（約224%）し、3億0,425万1千円となっている。これは市民1人当たりでは871円、1日当たりでは83万4千円となっている。

焼損床面積 <前年と比べ2,476㎡の増> 焼損表面積 <前年と比べ161㎡の増>

火災による建物の焼損床面積は5,355㎡で、前年と比べ2,476㎡増加した。焼損表面積は228㎡で、前年と比べ161㎡増加した。

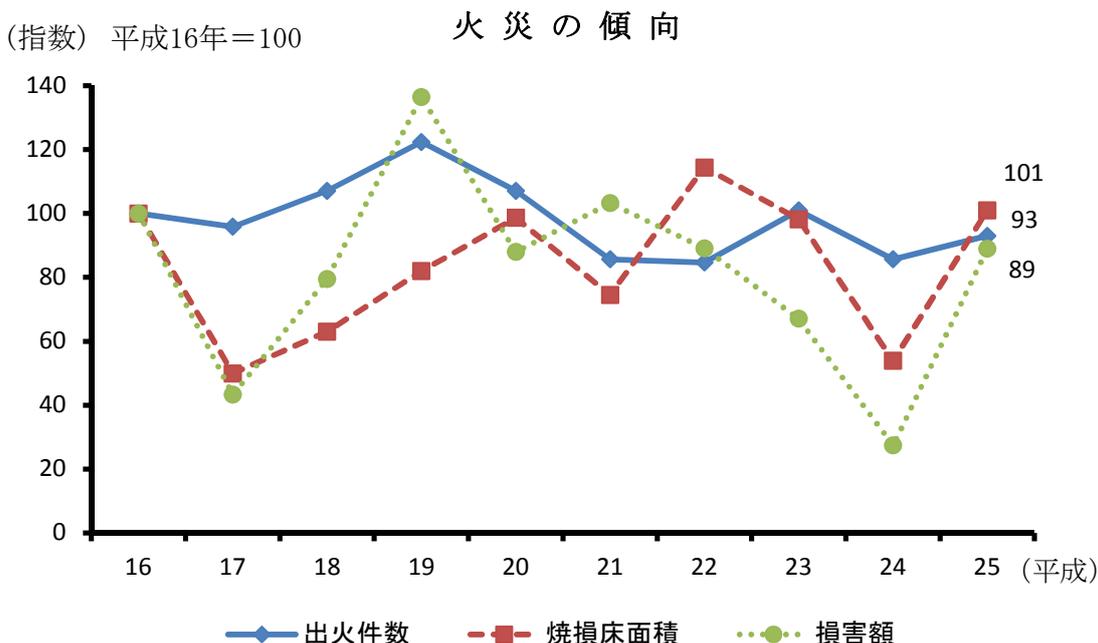
死傷者

火災による死者は2人で、前年と比べ2人減少した。いずれも建物火災により発生している。死者に至った経過は、「逃げ遅れ」1人、「その他」が1人となっている。

火災による負傷者は、前年と比べ13人増加し19人となっている。

出火原因 <1位は放火・放火疑い>

原因別の第1位は「放火・放火疑い」で19件、第2位は「こんろ」で13件となっており、以下、「ストーブ」「排気管」がそれぞれ6件ずつ、「電灯・電話線」が5件、「たばこ」が4件の順である。



平成25年（2013年）火災発生状況（前年比較）

区分		年	平成 25 年	平成 24 年	増 減
火災 件数	合 計		95	84	11
		(爆 発)	-	-	-
	小 計		69	68	1
	建 物	全 焼	17	18	△ 1
		半 焼	6	9	△ 3
		部分焼	23	17	6
		ぼ や	23	24	△ 1
	林 野		-	-	-
	車 両		13	8	5
	そ の 他		13	8	5
焼 損 面 積	建	床面積㎡	5,355	2,879	2,476
	物	表面積㎡	228	67	161
	林 野 a		-	-	-
損 害 額 (千円)	合 計		304,251	93,762	210,489
	建 物		93,291	62,746	30,545
	収 容 物		184,003	27,816	156,187
	車 両		26,076	2,870	23,206
	そ の 他		881	330	551
爆 発		-	-	-	
焼 損 棟 数(棟)		98	96	2	
り 災 世 帯 数		68	47	21	
り 災 人 員		138	95	43	
死 傷 者 数	合 計		21	10	11
	死 者		2	4	△ 2
	負 傷 者		19	6	13
	30日死者		-	-	-
出 火 率		2.7	2.4	0.3	
非 火 災 件 数		603	634	△ 31	
総 出 動 件 数		776	804	△ 28	

※ 出火率＝人口1万人当たりの出火件数を示す。

市・道・国の火災発生状況比較

【年】

区分		旭川市	北海道	全 国
出 火 件 数 () 内は建物火災件数		95 (69)	1,891 (1,209)	48,095 (25,053)
損 害 額 (千円)		304,251	3,933,382	90,782,394
焼損面積	建物焼損床面積(m ²)	5,355	69,137	1,183,724
	建物焼損表面積(m ²)	228	5,909	120,615
	林 野 (a)	-	696	97,079
焼 損 棟 数 (棟)		98	1,471	35,031
り 災 世 帯 数		68	928	21,369
死 傷 者	死 者	2	71	1,625
	負 傷 者	19	282	6,858
1日当たりの出火件数		0.26	5.18	131.77
時 間 と 出 火		92時間13分に1件	4時間38分に1件	10分55秒に1件
1件当たりの損害額(千円)		3,203	2,080	1,888
建物火災1件当たりの焼損床面積(m ²)		77.6	57.2	47.2

出火原因(火災種別別)

【年】

原因 火災種別	順位	1	2	3	3	5	6	7	7	7	7	11	11	11	11	11	11	—	—
		放火・放火の疑い	こ ん ろ	ス ト ー ブ	排 気 管	電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	た ば こ	火 入 れ	焼 却 炉	電 気 機 器	取 灰	配 線 器 具	炉	煙 突 ・ 煙 道	火 あ そ び	風 呂 か ま ど	灯 火	そ の 他	不 明 ・ 調 査 中
合計	95	19	13	6	6	5	4	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	20	8
建物	69	9	13	5	1	5	3	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	14	7
車両	13	2	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1
林野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	13	8	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

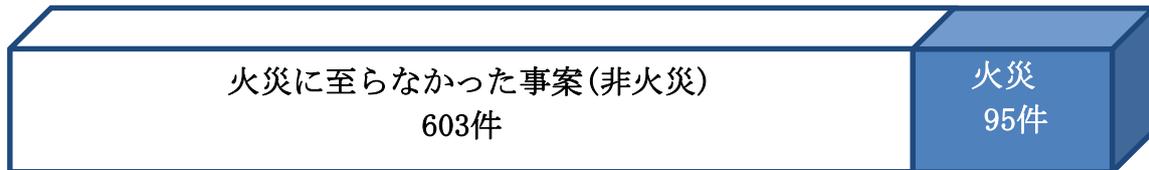
平成25年（2013年）「非火災」発生状況

火災に係る消防隊の出動件数は698件で、このうち603件が火災に至らなかった事案「非火災」であった。

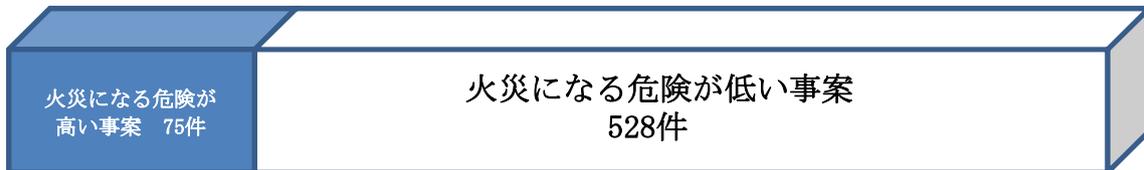
放っておけば火災になる危険が高かった非火災は75件で「こんろ」に起因する事案が最も多かった。

また、火災になる危険が高かった非火災のうち、緊急通報システム「ホットライン119」によって自動覚知・自動通報され火災に至らなかった事案は12件であった。

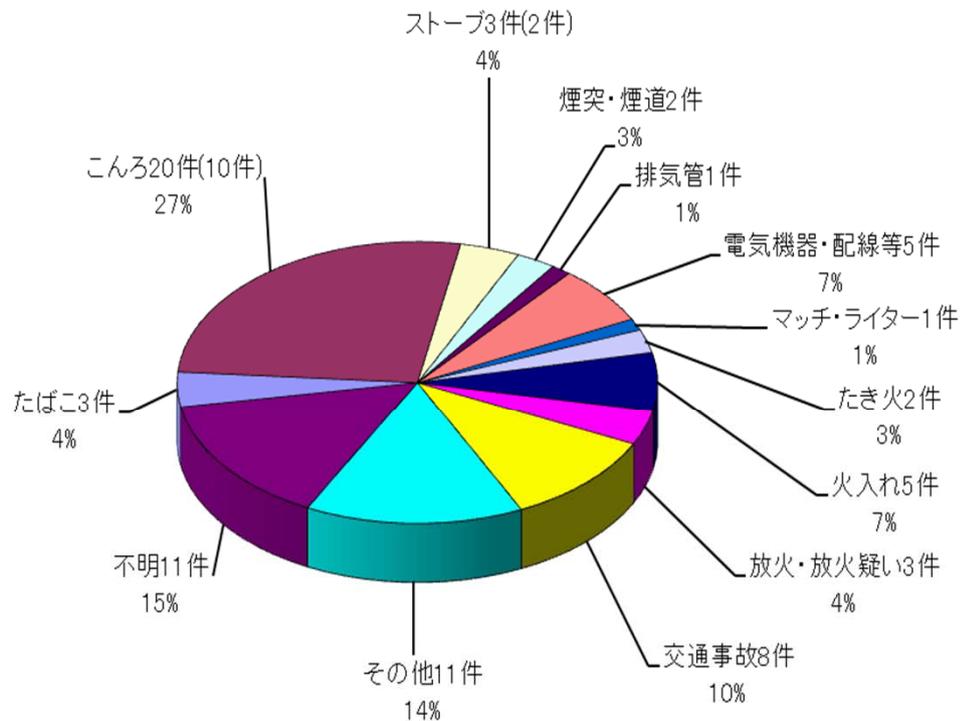
○ 火災出動件数698件の内訳



○ 非火災件数603件の内訳



○ 火災になる危険が高かった非火災の原因



※ ()内の件数はホットライン119のセンサー等により自動覚知・自動通報された事案

住宅用火災警報器の設置状況

消防法の改正により、平成23年5月31日から住宅用火災警報器の設置が全住宅に義務付けられた。これに伴い、出火建物における住宅用火災警報器及び自動火災報知設備の設置の有無、発報(作動)の有無について、昨年と比較する形でまとめた。

建物火災にあつては69件あり、そのうち住宅用火災警報器の設置義務がある建物における火災件数は35件、自動火災報知設備が設置されている、又は設置義務がある建物における火災件数は15件となっている。

出火建物における住宅用火災警報器の設置状況等

(単位：件)

火災報知設備 の設置状況 (年)	住宅用火災警報器						自動火災報知設備						設置の 有無が 不明	
	設置あり				設置なし		設置あり				設置なし			
	発報あり		発報なし (不明)				発報あり		発報なし					
	H24	H25	H24	H25	H24	H25	H24	H25	H24	H25	H24	H25		
全 焼	-	2	1	-	3	6	-	-	-	-	-	1	1	-
半 焼	1	1	-	1	6	1	1	1	-	-	1	-	-	-
部分焼	1	-	-	2	7	13	3	3	2	1	-	-	-	1
ぼ や	3	2	1	2 (1)	7	5	4	6	3	3	1	-	-	2
合 計	5	5	2	5 (1)	23	25	8	10	5	4	2	1	1	3

※ ()内の数値は、内数を表す。